

あつま

## 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

## 主な記事

- ・厚真町の夢のある英語教育
- ・道内最古の和鏡！厚真の遺跡発掘成果
- ・1月定例教育委員会の報告
- ・第1回厚真町中学1年生英語暗唱大会
- ・第35回スケート記録会成績
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

## 厚真町の夢のある英語教育は次のステージへ

社会のグローバル化が進む中、子どもたちには国際人として豊かな表現力、コミュニケーション能力が求められています。次世代を担う子どもたちが厚真町を愛し、世界へと視野を広げ国際社会で活躍することができるようにとの願いを込め教育委員会では、平成24年4月から文部科学省の教育課程の特例校の指定を受け、1年生から4年生に「英語活動」を新設して、小学校低学年から中学生までの一貫した英語教育を先駆的に実施してきました。これまでの3年間の実践研究の成果は、昨年9月に厚真中央小学校を会場とした公開研究大会で発表し、大きな評価を得たことは新聞等でも報道されました。

本町の英語教育は次のステージとして、英語による表現力、コミュニケーション能力の一層の向上を図り、「夢や希望」を持って生き抜く素地として、義務教育を終えた段階で英語による日常的なコミュニケーションを図れる英語能力を身につけ、様々な場面で英語を活用し、豊かに自己表現するための基礎の育成をめざします。今年4月から、小学校1年生から4年生までの英語活動の充実と小学校5年生から中学校までにコミュニケーション科が新設できるよう文部科学省に教育課程特例校の申請をしていました。この申請が昨年12月に認可され、厚真町の英語教育は次のステージへと進みます。

4月からの本町の英語教育では、小学校1年生から4年生は、英語活動の時間数を増やし、これまでの活動を充実させます。さらにEタイム（週1回、15分間の英語にふれる時間）を小学校の全学年に設け、コミュニケーション科を支える素地を学びます。新設される5・6年生のコミュニケーション科では、簡単な英語の読み書き、英語劇を通じた表現活動や、自分や厚真のことを他の地域に住む児童と英語で交流したりすることにも取り組みます。中学校のコミュニケーション科では、小学校のコミュニケーション科や普段の英語科の授業で学んだことを基に、厚真PRやアメリカのシェリダン校の生徒との交流、多様な場面を想定したスキット等を通し、英語を活用して、豊かに自己表現するための基礎を培います。27年度からの英語教育の詳細は今後の生涯学習便りでお知らせします。



厚真中央小学校公開研究大会



厚真プロジェクト学習



上厚真小学校4年生の英語活動



シェリダン校の生徒との年賀状交流



A PR（厚真PR）／厚真中学校



英語劇／厚南中学校